

平成29年1月19日

台風災害による石北線・根室線不通に伴い実施した対策について

昨年8月下旬に北日本に相次いで上陸した台風9号及び10号の影響により、石北線上川～白滝間及び根室線新得～芽室間において、橋梁流出等により複数の個所で不通となりました。JR北海道による復旧作業の結果、石北線については10月1日に、根室線は12月22日にそれぞれ運転を再開しましたが、当社は、「お客様のため」「地域のため」また「物流という『ライフライン』を支える」という社会的使命を果たすべく、上記区間が不通となった8月23日から、利用運送事業者等と協力して以下の対策を実施し、通常時と比較し、一日当たり最大67%の輸送力を確保いたしました。

I. 石北線不通対策

トラック代行輸送の実施

区 間 北見駅～北旭川駅 間
輸 送 力 片道最大55個（5トンコンテナ換算）
実施期間 8月23日より9月30日まで
代行実績 2,145個（北見駅→北旭川駅）
2,145個（北旭川駅→北見駅）

II. 根室線不通対策

1. トラック代行輸送の実施

区 間 帯広貨物駅～札幌貨物ターミナル駅 間
輸 送 力 片道最大200個（5トンコンテナ換算）
実施期間 平成28年9月5日（月）～12月21日（木）
代行実績 19,540個（帯広貨物駅→札幌（夕）駅・5トンコンテナ換算）
17,718個（札幌（夕）駅→帯広貨物駅・5トンコンテナ換算）

2. 船舶輸送

(1) 定期RORO船の利用

区 間 釧路港～東京港 間
輸 送 力 34個（5トンコンテナ、1船あたり）
運航期間 平成28年9月16日（金）～12月20日（火）
運航日 釧路港発 毎週火曜日・金曜日
東京港発 毎週日曜日・火曜日
輸送実績 936個（釧路港→東京港）
906個（東京港→釧路港）

(2) チャーター船の利用

区 間 釧路港～八戸港 間
輸 送 力 最大80個（5トンコンテナ、1船あたり）
運 航 期 間 平成28年9月15日（木）～12月21日（水）
運 航 日 毎日（日曜日除く）
輸 送 実 績 6,011個（釧路港→八戸港）
5,417個（八戸港→釧路港）

3. 区間列車の運転

区 間 苫小牧貨物駅～熊谷貨物ターミナル駅 間
輸 送 力 片道85個（5トンコンテナ）
運 転 期 間 平成28年9月17日（土）～10月21日（水）（隔日運転）
輸 送 実 績 計1,530個（苫小牧貨物駅→熊谷（夕）駅）

4. その他

上記輸送手段を補完し、輸送ネットワーク継続を目的として、以下の列車を運転しました。

(1) 釧路貨物駅～帯広貨物駅

運 転 本 数 一日2往復
輸 送 力 片道85個（2列車計）
運 転 期 間 平成28年9月5日（月）～12月21日（水）
輸 送 実 績 5,976個（釧路貨物駅→帯広貨物駅）
6,817個（帯広貨物駅→釧路貨物駅）

(2) 八戸貨物駅～隅田川駅

運 転 本 数 一日1往復
輸 送 力 片道80個
運 転 期 間 平成28年9月16日（金）～12月22日（木）
輸 送 実 績 6,007個（八戸貨物駅→隅田川駅）
7,000個（隅田川駅→八戸貨物駅）

Ⅲ. 鉄道による対前年北海道発着輸送実績推移

当該区間において当社が提供した輸送力は、上記のとおり、通常時と比較し一日当たり最大67%となりましたが、災害影響を受けた8月23日から12月22日の間、鉄道による北海道全体の発着貨物量は、農産物が災害により不作となった影響もあり、対前年比91%（今年度184万トン）で推移しました。

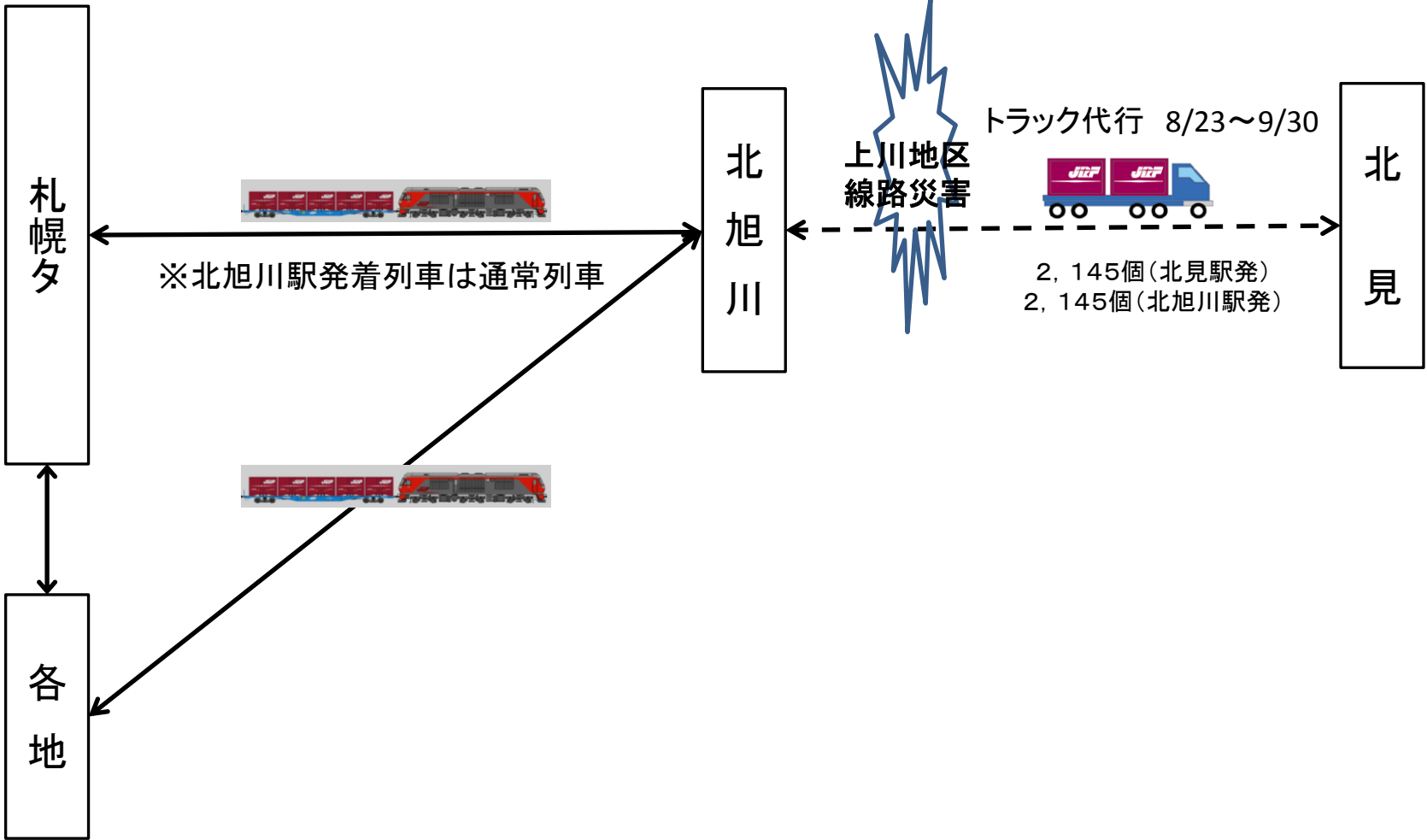
（参考資料）別紙「北海道道東地区 台風被害に伴うトラック代行等イメージ図①、②」

「北海道道東地区 台風被害に伴うトラック代行等イメージ図①」

—代行輸送実績—

(代行輸送実績 石北線関連 10/1 運転再開)

【凡例】鉄道輸送 ———— トラック輸送 - - - -



「北海道道東地区 台風被害に伴うトラック代行等イメージ図②」

—代行輸送実績—

(別紙)

(代行輸送実績 根室線関連 12/22 運転再開)

【凡例】鉄道輸送——— トラック輸送- - - - 船舶輸送— · —

